

バイパスの开通により走行速度が**17km/h**向上

— 県道土浦笠間線福原バイパス开通 —

开通したバイパスの状況



- 県道土浦笠間線の旧道は、道路幅員5.5m未満の区間が約2kmあり、また、カーブが多く見通しが悪いため、車の運転手にとっては走りにくく、歩行者にとっては危険な道路でした。
- そこで、北関東自動車道の笠間西ICへの連絡道路としての役割を併せ持つ延長1.7kmの福原バイパスを整備しました。
- バイパスの开通後、土浦方面と笠間方面を行き来する車の**平均走行速度が、32km/hから49km/hに向上**しました。
- また、北関東自動車道との連絡性が向上したことにより、第三次医療機関である水戸医療センターまで30分以内に搬送できるエリアが約5km²拡大されました(東日本高速道路(株)試算)。

旧道の状況



- (主)土浦笠間線道路改良事業
- ・事業期間 平成9~19年度
 - ・整備延長
福原バイパス 1,700m
笠間西IC(B区間):200m
 - ・幅員
福原バイパス :16.0/6.5m
笠間西IC(B区間):14.5/7.0m
 - ・総事業費 約29億円

走行速度
32km/h(旧道)
→49km/h(バイパス)で
17km/h向上